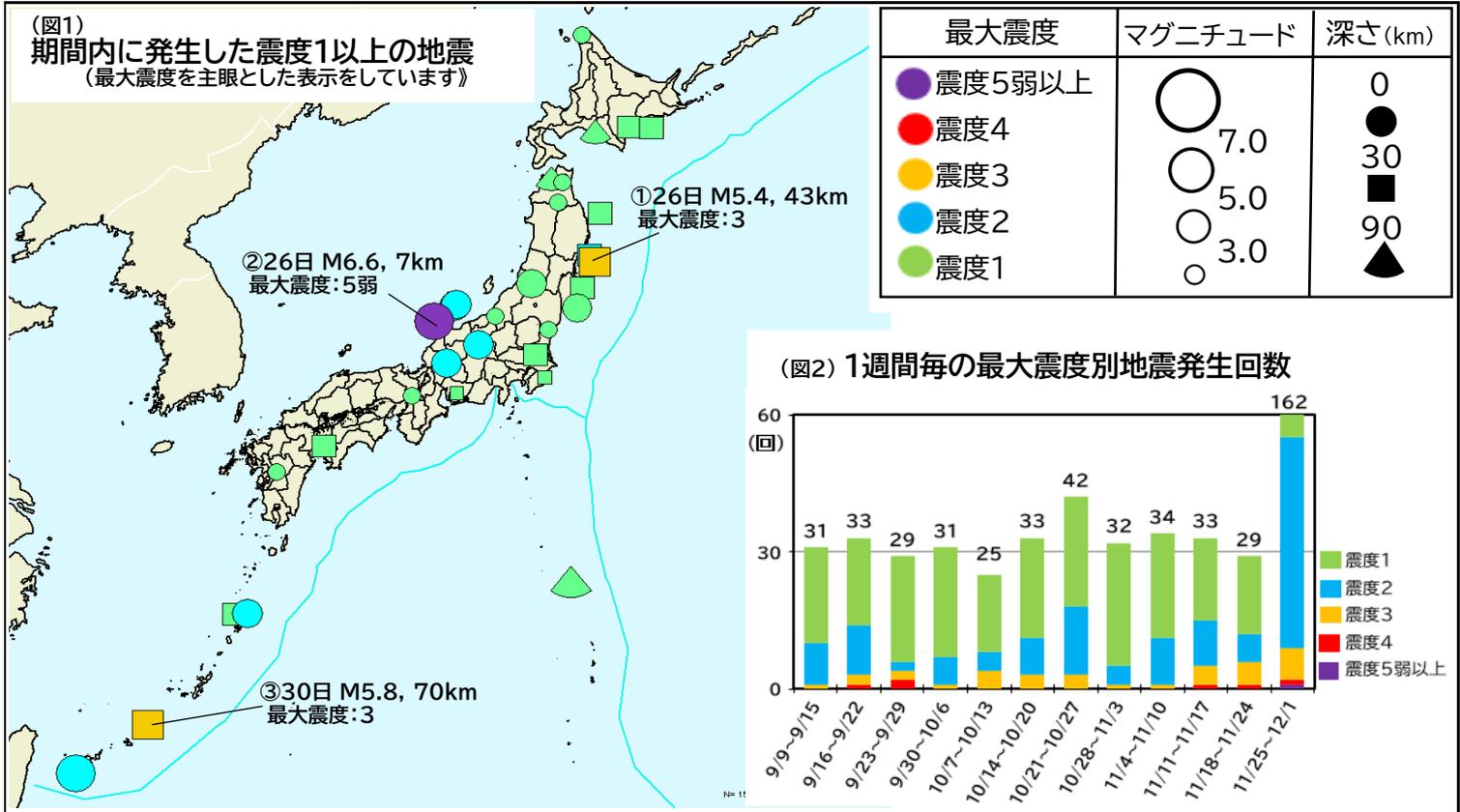


この期間の最大震度は5弱(石川県西方沖の地震で観測)

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が162回発生(多くが石川県西方沖)。最大震度は5弱(石川県西方沖の地震で観測)。
- ①11月26日13時31分に宮城県沖で発生した地震(M5.4、深さ43km)により、宮城県気仙沼市・石巻市など、岩手県大船渡市・一関市などで震度3を観測したほか、東北地方を中心に関東甲信地方にかけて震度2~1を観測。
- ②11月26日22時47分に石川県西方沖で発生した地震(M6.6、深さ7km)により、石川県輪島市・志賀町で震度5弱を観測したほか、東北地方から中国・四国地方の広い範囲にかけて震度4~1を観測(トピックス参照)。
- ③11月30日17時46分に宮古島近海で発生した地震(M5.8、深さ70km)により、沖縄県宮古島市で3を観測したほか、沖縄県と鹿児島県奄美地方で震度2~1を観測。

トピックス

■ 石川県西方沖の地震活動 ■

- ・11月26日に石川県西方沖で発生したM6.6の地震は、1月1日に発生した能登半島地震(M7.6)に伴って活発となった一連の活動域の西端にあたり、これまでもM4程度の地震が発生していましたが、活動域全体から見ると発生数の少ない地域で発生しました(図3-1、図3-2)。
- ・26日の地震は、1月1日の地震と同様に地殻内で発生した逆断層型の地震で、最大規模の余震です。
- ・石川県西方沖で震度1以上を観測した地震数は表1のとおりです。一方、1月1日以降に能登半島周辺で発生した地震で震度1以上を観測した地震数は図4のとおりです。
- ・図4のとおり、能登半島周辺の地震活動は次第に少なくなっていますが、これからも暫くの間は活動が続くものと考えられます。

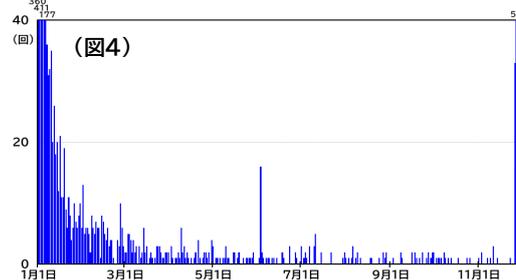
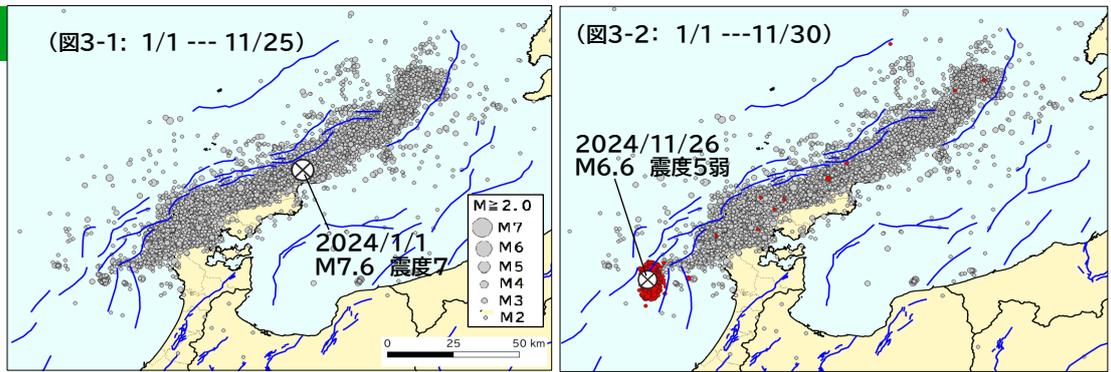


図3: 震央分布図 (M≥2.0)  
2024/1/1 --- 2024/11/30  
● 2024/1/1 --- 2024/11/25  
● 2024/11/26 --- 2024/11/30  
青線の活断層は地震調査研究推進本部資料をトレース

図4: 図3の範囲内で発生した震度1以上の日別地震回数(1月1日~12月2日12時)

表1:石川県西方沖 最大震度別回数(11月26日~12月2日)12時まで

最大震度	1	2	3	4	5弱	合計
回数	88	41	5	1	1	136